

# 急性骨髄性白血病に対する臍帯血移植における Fludarabine/MelphalanとFludarabine/Busulphanを用い た緩和的前処置の比較

2022年12月21日作成 1版

1. 研究対象：  
2007年1月1日～2022年12月31日に造血細胞移植医療の全国調査に協力頂き、緩和的前処置を用いた16歳以上の臍帯血移植を受けた急性骨髄性白血病の患者さん
2. 研究目的・方法  
本研究の目的は急性骨髄性白血病に対する臍帯血移植における最適な緩和的前処置を明らかにすることです。代表的なFludarabine/MelphalanまたはFludarabine/Busulphanを用いた前処置の移植成績を比較・検討します。研究期間は研究許可日から2024年12月31日までです。
3. 研究に用いる資料・情報の種類  
患者さんの背景、移植方法、治療成績について日本造血・免疫細胞療法学会に全国一元化データベースとして蓄えられた仮名加工情報を用います。これらの情報はすでに収集されているので、この研究のために新たに患者さんに検査を実施したり、情報収集を行うものではありません。また、仮名加工情報を研究利用することに同意頂いた患者さんのみが対象となります。
4. 外部への資料・情報の提供・公表  
本研究で用いるデータは他の研究へは利用しません。本研究は、データの収集及び解析が終了した時点で、研究全体の検討を実施し、学術的内容の検討を行います。結果は学会や論文で発表されます。
5. 研究組織  
関東労災病院 青木 淳  
日本造血・免疫細胞療法学会 豊嶋 崇徳  
日本造血細胞移植データセンター 岡本 真一郎  
日本造血細胞移植データセンター 熱田 由子
6. 問い合わせ先  
本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。  
また、資料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。この場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者/代表者：関東労災病院 血液内科 青木 淳

〒211-8510 神奈川県川崎市中原区木月住吉町 1-1

TEL:044-411-3131 FAX:044-433-3150